

# 弟子屈でのエコツーリズムの今後は



てしかが観光フォーラムの様子

てしかが観光フォーラムは、国内旅行で増加傾向にあるエコツアーに携わるガイド事業者やさまざまな野外活動、環境教育に関わる方を対象としたもので、地域のエコツーリズム推進に向けての取り組みとして開催されました。

第1部では「エコツーリズムについて学ぼう」をテーマに、北海道大学観光学高等研究センターの敷田麻実教授が、地域資源の効果的な活用を図るエコツーリズムについて話しました。敷田教授は、弟子屈でのエコツーリズムの今後について「あえて無駄の蓄積を心がけ、資源を多様性を利用する戦略を（観光）交流自体を資源と考え、交流から新たな価値を生み出すことが大事である」とアドバイスしました。

第2部は「屈斜路湖におけるスポーツフィッシングと観光振興の可能性を探る」をテーマに開催されました。講師は、阿寒湖で先行している釣りによる観光振興を先導してきた高田茂さん。「阿寒湖の遊漁振興と阿寒湖温泉街の宿泊施設における釣りの受け入れ体制について」と題して、阿寒湖での釣り観光の受け入れ対策について話しました。高田さんは「屈斜路湖はまだまだ高い可能性を秘めている。連携して取り組むことが必要である」と強調しました。

続いて、国内外の釣り場へ多くのツアーを催行している旅行会社（ペシヤリスト）のトラウト&キングフィッシングツアー代表の夷谷元宏さんが「旅行者としての釣りのニーズと特性、動向について」と題し、昨今の釣り観光の動向について話しました。夷谷さんは「釣りの人は良い環境で釣りをしたいと考えている。屈斜路湖はフィールドとしては世界にも通じる」と高く評価しました。

パネルディスカッションには、行政や地元観光事業者なども登壇。講師らと活発な議論を交わし、今後の釣り観光について期待を表明していました。

## 修学旅行関係者へ当町の情報を!

### 道央圏の中学校修学旅行誘致へ向け

町と地域密着型旅行会社の（株）てしかが（白石悠浩代表取締役）など関係者は、3月11日に発生した東日本大震災の影響で観光客のキャンセルが相次ぐ危機的状況の中、同様に東北への修学旅行が催行できなくなっている道央圏にある中学校の修学旅行関係者への情報発信に取り組みました。

これまで、東北への旅行が主であったために、東北道道の旅行情報がほとんど皆無であるといったことから、何とかその情報を届けることにより、本町への誘致を図ろうという取り組みです。

こうした動きは北海道中の観光関係者が進めています。いち早く取り組みを進めた結果、約4千人（4月14日現在）を決定分、さらに増える見込みの修学旅行生を迎えることとなりました。修学旅行に関する情報は、宿泊のみでなく、地域の豊かな自然を体験するといった内容もふんだんにあるとして、体験事業者などへの経済波及効果なども期待しています。

今後は、継続した誘致を図るために、関係組織・団体での受け入れ体制を整備するとともに、町としても積極的に支援を行うこととしています。



「和のおもてなし」について話した土屋さん

てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）は3月9日、ホスピタリティ講座「まちぐるみでおもてなしセミナー」を川湯のホテルで開催しました。

セミナーは、町民の皆さん一人一人が心を配り、温かくもてなす機運を高めることを目的としました。

今回は、特に増加傾向にある訪日外国人の受け入れを意図したセミナーとなっており、講師は当町観光アドバイザーの山田桂一郎さんと、JALアカデミーインストラクターの土屋圭子さんのお二人です。

最初に山田さんは、スイスの「観光学校ホスピタリティ概論」をテーマに「おもてなしとは戦術の一つであり、CS（顧客満足度）の推進とは顧客・リピーターの獲得である」と述べ、あらためておもてなしの大切さを強調しました。

参加した飲食店の女性は「おもてなしが大切な戦術であり、リピーターの確保に欠かせないと初めて知りました。今後とも機会があれば継続して受講してみたい」と話していました。

また「和のおもてなし」と題して講演した土屋さんは「日本へお越しになる外国のお客さまは、何かを言う前に対応してくれるような、世界でもトップクラスのおもてなしを求めている」と話し、二期一会の気持ちで接客に臨んでほしいと述べました。

さらに「和のおもてなし3か条」として、①装い ②しつらい ③ふるまい を掲げるとともに、おもてなしの3つのポイントとして、①相手の立場を考慮する ②好意を伝える ③敬意を払うことであり、お客さまから信頼を得るための対応などであると、実演を交えながら解説しました。

## まちぐるみでおもてなしを

### ホスピタリティ講座に30人

てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会・池田篤英部長（会長）は3月29日、「てしかが観光フォーラム」を川湯ふるさと館で開催しました。フォーラムは、第1部「てしかが野外活動スキルアップ講習会」、第2部「屈斜路湖遊漁フォーラム」の2部構成で開催され、町内外からガイド事業者や宿泊事業者など約40人が参加しました。

利用可能施設（50音順） ※4月15日現在

- 弟子屈地区**
- アリスガーデン ☎482-7585
  - うさの森 ☎482-4672
  - 温泉民宿北の大地 ☎482-4937
  - 温泉民宿美里 ☎482-1020
  - きらの宿すばる ☎482-2224
  - ひとつぶの麦 ☎482-1177
  - ピュアフィールド風曜日 ☎482-7111
  - ペンション&コンドミニアムBira ☎482-2979
  - ペンションぼらりす ☎482-2622
  - ホテルニュー子宝 ☎482-2131
  - ホテル摩周 ☎482-2141
  - 摩周湖ユース・ホステル ☎482-3098
  - 民宿ましゅまろ ☎482-2027
- 川湯地区**
- 温泉浪漫の宿湯の閣 ☎483-2011
  - 川湯観光ホテル ☎483-2121
  - 川湯第一ホテル忍冬 ☎483-2411
  - 川湯ホテルプラザ ☎483-2211
  - 屈斜路湖荘 ☎483-2545
  - 屈斜路湖仁伏保養所 ☎483-3058
  - 屈斜路湖ホテル ☎483-2415
  - KKRかわゆ ☎483-2643
  - コテージログハウス川湯 ☎483-2544
  - 旅人宿あさ寝坊 ☎483-2725
  - ホテル開嶽 ☎483-2318
  - ホテル川湯パーク ☎483-2611
  - ホテルパークウェイ ☎483-2616
  - 御園ホテル ☎483-2511
  - 名湯の森ホテルきたふくろう ☎483-2960
- 屈斜路地区**
- アトレユ ☎484-2455
  - ガストホフぱびりお ☎484-2201
  - 屈斜路原野ユースゲストハウス ☎484-2609
  - 屈斜路プリンスホテル ☎484-2111
  - ゲストハウスていんくる ☎484-2122
  - コタン温泉プチホテル丸木舟 ☎484-2644
  - 三香温泉 ☎484-2140
  - ペンションクッシャレラ ☎484-3232
  - ペンションチャトラン ☎484-2024

# 町民の皆さんが町内で宿泊すると2,000円が助成されます

町民の皆さんが、左の表にある宿泊施設に宿泊する際、2,000円の助成が受けられる「宿泊支援」が今年度も始まりました。

町民の方が宿泊する場合は、どなたでも助成を受けられます。

今年度は新たに、町民の方が一緒に宿泊される場合は、町外にお住まいの親戚も助成の対象となります。

また、町民の方が参加するクラス会や老人会などのサークルでも、町民の方が一緒に宿泊される場合は、町民以外の方も助成対象となります。

※サークルは、拠点が町内であることが条件です。

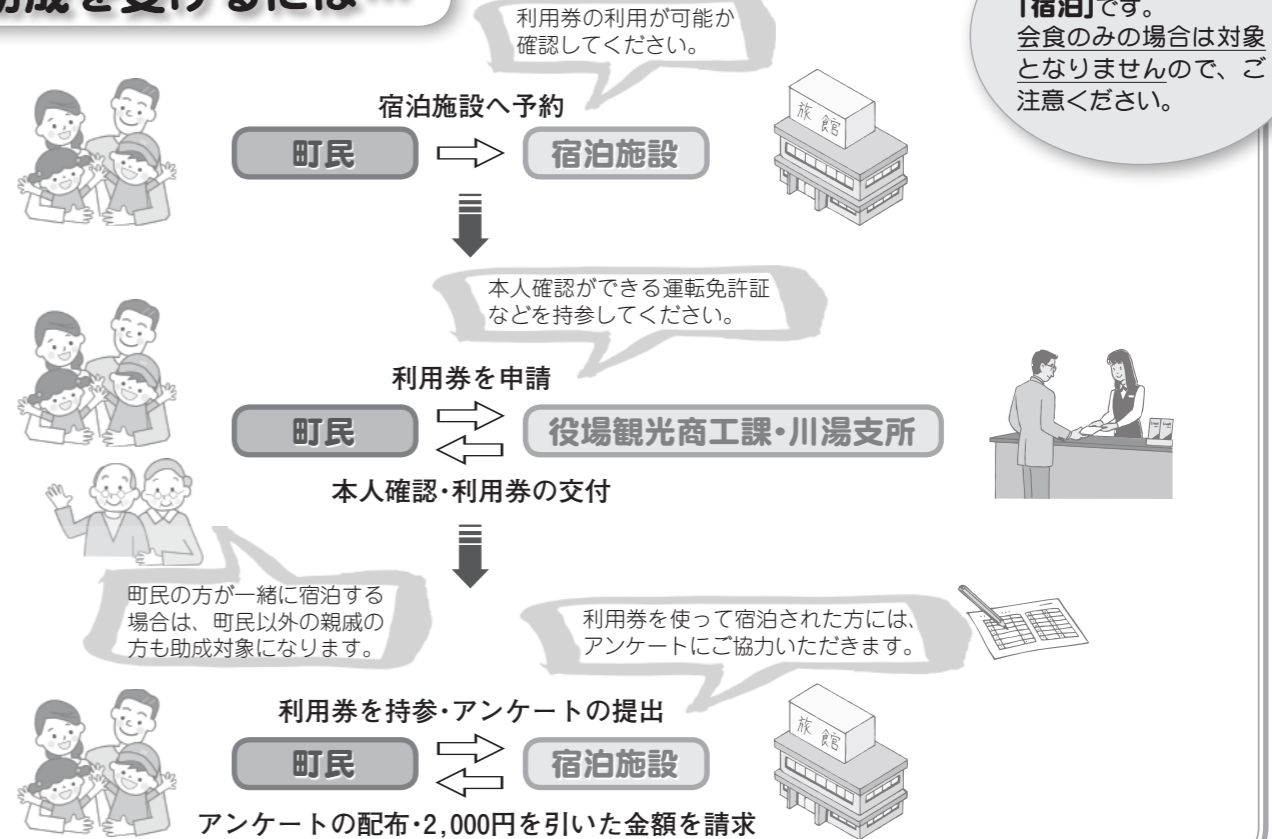
### ▶利用券の交付場所

- 弟子屈地区／役場観光商工課
- 川湯地区／役場川湯支所

▶交付日時／月～金曜日（祝日を除く）の8:45～17:30

申請には、身分を確認する物が必要です。また、2人以上で利用する場合は、窓口にはらしていない方の印鑑か委任状（名簿）が必要です。

## 助成を受けるには…



助成の対象となるのは「宿泊」です。会食のみの場合は対象となりませんので、ご注意ください。

問い合わせ先／役場観光商工課観光商工係 ☎482-2940（課直通）